

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804190

案件番号 :1884428

主分野課題 :保健医療/結核

副分野課題 :

使用言語 :英語

案件概要

ストップ結核戦略や新世界戦略「The End TB Strategy」(2014年採択:WHA)及び「改訂版ストップ結核ジャパンアクションプラン」(2014年)では、UHC達成に資する結核対策への必要な取組の継続、強化が求められている。これらに基づき、研修を通じて研修参加者が結核対策の活動モニタリング・評価手法について理解すると共に、結核問題減少のための知識、技術を習得することを目指す。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 研修参加者が、UHCと最新の結核戦略、結核対策の活動モニタリング・評価手法、及び自国での結核プログラム強化に向けた改善策策定に必要な知識・技術を習得する。</p> <p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. UHC総論について説明できる。 2. 根拠に基づく医療 (EBM) の基礎を習得する。 3. 医療(診断・治療) サービスへのアクセス向上 (Patient-Centered Care)について理解し、説明できる。 4. UHC達成のための結核対策の強化策について理解し、説明できる。 5. 結核対策の近年の課題と日本の技術について理解し、説明できる。 6. 自国の結核プログラムの改善策を提示することができる。 	<p>【対象組織】 中央もしくは地方の結核対策を実施する機関</p> <p>【対象人材】 1. 中央もしくは地方の結核対策を実施する機関に属する医師かそれに準じる者、2. 国家結核プログラムに係る業務経験が2年以上の者、3. 結核対策の計画立案・実施における責任者、4. 過去に類似の結核対策に係る国際研修に参加した経験のない者</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SDGsの中のUHC、UHCとEnd TB Strategy、UHCの実例(日本)、各疾患対策とUHC(結核を例に)、世界のUHCの事例 2. 基礎疫学とオペレーショナルリサーチ手法、感染症の疫学、疾患対策のモニタリングと評価、分子疫学(結核を事例に) 3. UHCに必要な官民連携、社会的決定要因とリスクグループへの対策、医療従事者からのPatient-Centered Care、UHCで求められる地域共同体レベルの疾患対策、遅延解析、患者費用分析(Catastrophic Cost)、国内研修旅行(大阪:ハイリスクグループ対策を含む) 4. 結核とHIV重複感染、結核とNCD(糖尿病や栄養など)、たばこと結核、小児結核、結核の感染防御管理 5. 結核の診断の基礎とEQA、結核の免疫遺伝学と免疫診断、結核の診断におけるレントゲンの役割、結核診断及び遺伝子診断による結核診断・薬剤耐性検査(Expert, LAMP, LPA)、多剤耐性結核のための診断・治療及びプログラム管理、多剤耐性結核の新薬(デラマニドなど) 6. プロジェクトサイクルマネジメント、各国結核対策の問題分析、国別発表、チュートリアル、最終発表、提案書作成 	<p>本邦研修期間</p> <p>2018/5/23~2018/7/28</p>	
	<p>担当課題部</p> <p>人間開発部</p>	
	<p>所管国内機関</p> <p>JICA東京(人間開発)</p>	
	<p>関係省庁</p> <p>厚生労働省</p>	
	<p>実施年度</p> <p>2016~2018</p>	
<p>主要協力機関</p>	<p>公益財団法人 結核予防会結核研究所</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>		